

会場	ご意見・ご質問の概要（順不同）
厚別区	<p>昨日はお疲れ様でした。健康寿命延伸については大賛成。特に人との交流、健康づくりや社会参加②つながる活動は大切だと考える。ポイントの付与について歩くことも大切だと思うがその他に札幌市の関連施設（体育館、温水プール、区民センター、老人福祉センター）などを利用した運動や趣味の活動に対してもポイントを付与することの検討をお願いします。具体的には以下の活動など1健康づくりや介護に関するセミナーや説明会などの参加2スポーツ（健康づくり体操、卓球やヨガ）の参加3趣味（水彩画、茶道、書道やゲーム）への参加</p>
厚別区	<p>質問1敬老パスはどのくらい利用されているのか＝対象者の利用率があるのになぜチャージ率か。57%が利用していないは間違いで、59%が利用しているが正しい。16%アップする。令和4年の事業概要 利用者253千人 チャージ者数185千人 2事業資金が偏っている。5万円超えの9%のチャージ者で事業費2,400百万円＝正しくない。利用者負担額548百万円（59%）市負担の事業費は1,880百万円（47%）。利用者負担額の割合も併記して市の負担額と合わせて検討すべき。事業概要では利用者負担額を事業費から除いているのにここでは除かないのはなぜか。3健康や社会参加を促す仕組み（敬老パス）が全ての対象者に届いていないのが問題＝正しくない。敬老パスを他の福祉施策を受けている人や外出困難者にまで届けさせるのは不可能。考え方の基礎となる対象者数＝100千人 減じて328千人とすべき。要介護認定者120千人 要支援2から要介護5 96千人、70歳以上 93千人。この100千人の多くが外出困難者で介護保険や障がい者交通費助成などの福祉施策の対象者。障がい者交通費助成を受けている人は敬老パスの対象外。交通費助成と敬老優待乗車証は、目的が同じ福祉施策。意見1敬老パスは維持すべき＝50年有効に続いてきた政策を突然乱暴に変えるのはあまりにも傲慢。実際の利用率77%、交付者利用率は71%と高く、対象者に深く根付いている施策である。対象者の交付率109%となり全ての対象者に敬老パスの趣旨は行き渡っている。持たない人、利用しない人は、車利用や病気等で将来に備えていると言える。利用限度額が下がれば病院や社会活動への外出は減る。外出を支援するという目的に合わない。ポイント制の実施は利用者を減らし事業費の削減につながる。真の目的が高齢者増に備える財政改善にあるなら限度額減や利用者負担額減を提案すべき。意見2 ポイント制に反対。システム開発費及び新システムを市民全体に周知徹底させる労力、経費が膨大。実施するにも本人、行政、諸施設の担当者の手を煩わす事になりその時間的、経済的価値の喪失は計り知れない。体調万全ではない高齢者にとって2万ポイント貯めるのは苦行＝体力差、健康差があり不公平。健康増進活動は独自の考え、やり方で行うもの。行政の定めるポイント取得科目、取得方法は限られ、出来る人、出来ない人に別れる＝不公平。対象者の85%以上が働いていない。ゆとりがない39%、年収200万円未満58%、健康ではない29%、通院者80%以上＝経済的にも、身体的にも対象に寄り添っていない天下の愚策。</p>
厚別区	<p>新制度に反対。健康敬老パスというが、アプリや講習会参加でポイントを貯めるのは高齢者にはむりがある。いかにもIT業者をもうけさせる制度に思える。出かけるのを妨げる新制度になっている。今までの制度にJRやタクシーを加えてもらえるのが一番よい。新制度では出かける人が今より減ってしまう。私は恵庭に住んでいたが、70歳までに敬老パスを取得したくて札幌に引っ越した。それなのに制度を変えるというので起こっている。せっかく札幌市民になったのにこれでは騙された思い。せっかくとてもいい制度だったのにこの変更は頭にきている。</p>
厚別区	<p>もみじ台在住のため、どこに行くのも新さっぽろまででないといけない。健康には気を付けてきたので病院通いもほとんどなくきたが、80代になりあちこち悪い所に出てきた。交通費も新札幌の往復でも1回420円治療に週2回唯一楽しみコーラス練習に1回街方面の往復は千円ほどかかり毎年7万では足りず3千円？程自払いしている。散歩もだんだん難しい年齢となっているのでこの案は対象者のことをなにも考えていない元気な若者が考えているのでは！</p>
厚別区	<p>敬老パスの今まで！新しい制度には反対。自己負担17000円もこのままで。上限7万円を2万円に下げるのはだめ。10万にしてほしいくらい。スマホないし、歩行ポイント無理。高齢で歩行もやっと、雪なくとも出かけるのも厳しい。毎週病院通い3～4カ所。パスすぐなくなる。年金も少なく17000円の負担もやっと。なぜこんな制度考えたのか？不満。パス不必要な人と思う。</p>
厚別区	<p>今まで通りで良い。次の案は廃止。高齢にやさしさを。</p>

会場	ご意見・ご質問の概要（順不同）
厚別区	地下鉄はとて面白いウォーキングコース。敬老バス千円、2千チャージのみでも…
厚別区	現行のバスを実行してほしい。
厚別区	敬老バスの7万円維持、ポイント制ストップを強く要求する。7万円は郊外区（厚別）では市内に行くのに1回千円月4～5回行くと5～6万となっている。市内交通費が高すぎる。市電のように全線一律なら分かるが。ポイ活は高齢者にはいじめ。利用者はより減り逆効果しかない。
厚別区	今まで通りが良い。
厚別区	絶対に継続願う。敬老バスの原点を考えているのか。新しい案は反対に敬老者を不健康にさせる。バス廃止は札幌市の恥。何十年も続けたのに。何時も感謝しながら利用してる。
厚別区	高齢社会において1物価高騰の問題2健康のためわずかな時給で社会参加しているが厚別から大通りまでラウンドチケット580円。3あつという間に1年7万円なんてすぐなくなる。4大通りで高齢者で会う。そして食事をしているので社会繁栄に貢献している。5昭和23～30年代までは日本のために尽力した世代。6人口赤ちゃん問題ばかり、高齢者はあまりに…7日本は現代社会貢献した者はあまりにひどい仕打ち！！8これからきっと高齢社会において認知症にならぬよう外へ出て資本主義に貢献したく思う。9人生楽しみながらパートや食事会など頑張っていること理解してほしい。究極の選択だが、和田繁樹（作家）頑張ってきた高齢者に対して平均値よりもっと敬っていただきたい。10自己負担はもつてのほか。いやです。これ以上11町内会員だけではだめなのか。全員廃案してほしい12今まで通りお願いしたい。
厚別区	足が悪く歩くことが難しい私にしては健康推進でポイントというのは大変で反対。
厚別区	印刷代はいくらかかっているか。元気な人に使って頂くようにその為には市区他にも取りに行くようにして案内書はいらない。経費はかからない様に。7万で足りない人は沢山いる。
厚別区	ポイントが付与される事項が具体的に示されていないので良否について判断できないが従来の方法（事故負担）と新しい取組を取り入れがよいと思う。
厚別区	現在の敬老バスを残してほしい。敬老バスのポイント制はどのような行動をポイントの対象にするかなど、制約がありそうでいや。札幌の今の健康寿命の位置は敬老バスを活用してのものであるのを考慮してほしい。
厚別区	敬老健康バスは非常に無理がある。健康寿命を延ばす事と敬老バスは違う！疑問。敬老バスを残しタクシーも使えるようにしてほしい。
厚別区	このバスは健康な人のためのもの。元気に歩けない人は使えない。今までの者と全く別物。全く賛成できない。これはこれとして、現状のバスを残してください。
厚別区	ポイント制はやめてほしい。IT企業のビッグデータ利用に貢献してほしい。健康増進の制度は敬老バスと切り離してほしい。6億の開発費は無駄。市民目線で考えてほしい。
厚別区	敬老バスから健康敬老バスの移行に反対。今回の提案はポイント活用して健康増進をはかることだが、スマホのない人、使用できない人、遠くまで歩けない人には活用できない。今の敬老バスは高齢者の市民活動を進め、外出することでの経済効果は大きい。今回財政面を考慮して「敬老バス」を改めるのであれば今の制度の負担額（限度17000円）増額し、利用者限度額の縮小を提案したい。また、利用できる交通機関もタクシーJRを加え利用者対象者の範囲を拡大することを検討してほしい。
厚別区	ポイント制に変わると外出の機会が減ると思う。何しろ膝に障害を抱えているため今でも買い物などに利用。新たに介護教室に向くのは見ると考える。今でも最小限の活動で経済効果にも寄付してきた。ポイント制になると活動は縮小され経済活動にも影響を及ぼすだろう。

会場	ご意見・ご質問の概要（順不同）
厚別区	歩けば交通費がポイントとして手に入るという理由で高齢者が歩こう、運動しようと思うか？ポイントを手に入れるため歩きに出かけるだろうか？それは無理だろう。
厚別区	高齢者スマホなしなぜなら高額な費用がかかる。そういう事は考えてもらえないのか。スマホ進める意味が分からない。今まで敬老パスに助けられた。今後も敬老パスを希望する。
厚別区	やるなんてどうなのか。こんな狭い会場で椅子も足りなく、厚別区民の意見、声を聞く気がないとしか思えない。やっつけ仕事で各区で説明会するだけで本当に市民の声をちゃんと聞いているのか。信じられない。市民と共に考えるというならもっと時間をかけて年月をかけて制度設計すべき。7万を2万にするだけで外出制限である。アプリは高齢者に難しい。市は敬老パスの目的を履き違えている。敬老パスは外出支援。歩けないからタクシーやバスに乗っているのに歩けない人にはポイントがつかないのはおかしい。体が大変でも自分の力で頑張って病院に行こう外出しようと思うからバスに乗るわけで努力しなとポイントがつかないなんて敬老ではない。5人に1人が介護を必要な人が多い。それならなおさら自分で外出出来る制度にしていくべき。健康維持事業は別に考えるべき。今の敬老パスの基本を変えないでほしい。
厚別区	敬老パスを続けてほしい。病院、買い物に助かっている。健康パス、ポイント等年寄はやれない。中止してほしい。
厚別区	敬老パス廃止に反対。会場が狭く1/3は立って参加した。市のアイディアは本当に必要な人まで切り捨てる。使わない人は不要の申告をしてはどうか。高齢になるほど車が必要だから、パスがなくなるのは困る。年金減額、物価高騰、高齢者はなすすべがない。意見を聞く時間が少なすぎる。取り残された感がある。多くの人が手をあげているのに発信できた人はわずか。一方的に時間切れ。時間帯は老人の時間帯ではないし、役所では時間外にいたるはず。残業手当など、経費節減してほしい。
厚別区	札幌で子供たちが怒っている。介護保険第2?が地方の一人暮らしの親が介護が必要になり札幌に引き取り見ている現状それが札幌市の健康寿命を下る事情の一つ。敬老パス、財政が厳しいのであれば上限を引き下げ金額を2倍にしても続けてほしい。①ATMが近くにない片道歩いて片道バス・②病院に行くにも通院のバスがなく乗り換えて月1回通っている。
厚別区	今まで通りで良いと思う。市の福祉の予算が足りないのであればポイント制も致しかないと思う。
厚別区	敬老パスは維持するように。敬老パスの利用グラフが作意されている。健康パスは逆に経費がかかり反対。
厚別区	現在6回目のチャージをしているが、今回の改正が実施されると利用回数が1/3になる。当然出歩く回数が減る。札幌市と同規模の人口の政令都市が敬老パスを実施しているが、札幌市の新制度の2万円上限で終わりはなかった。形は違うが札幌市の現在の制度とほぼ同じ。自己負担が2割アップになってもいいので、続けてほしい。何度も言うが、新制度の作り直しが必要。

会場	ご意見・ご質問の概要（順不同）
厚別区	<p>敬老バスを3年余り活用している。札幌市のHPの敬老バス制度が載っている。その中で市民の健康寿命延伸を目指す一つとして敬老健康バス制度へ発展させたと書いてある。また、高齢者の健康づくりや社会参加のきっかけを一層後押しすると書いてある。イメージ図からは、今までの敬老バスでは自己負担3千円で2万円分利用できたが、健康敬老バスでは、自己負担がないが、獲得するためにはアプリとポイントを稼がなければならない。一言でいうと、利用しづらくする制度になっている。すなわち敬老ではなく、老人困難ポイントとなっている。本来、敬老バスは70歳以上を対象に外出を支援し、明るく豊かな老後の生活の充実を図る為となっている。この趣旨からもずれている。市が、平成30年、「敬老優待乗車証利用者実態調査」だが、回答数5222件の中身を見ると、この制度の効果について、外出意欲が高まり健康増進や介護予防を推進する効果が71.6%で最も多くあり、老人の引きこもりを減らし、心身の健康を支える陰の役割を果たしている。今後もこの制度を維持してほしいとの趣旨の意見がほとんど。財源だが、イメージ図で敬老健康バス事業の公費負担は現行の敬老バス事業と同規模を維持とあるが、現行の敬老バスの2万円までの自己負担3千円を公費負担することによって、3万円から7万円までのチャージ対象者15.2%削減することになる。あれだけ市民が反対したオリンピックは基金として50億ものお金を使って46億の敬老バスは実質削減か。秋元市長は市民の方を見ているのか。甚だ疑問。少なくとも現行の制度は守ってもらいたい。</p>
厚別区	<p>この制度有難く使わせて頂いているが、年間6万分使用している。普段使用しない駅で下車しウォーキングを大切にしている。全く利用しない人とそこそこ利用する人を別々に考えてもらいたい。今までの制度+ポイント制が良い。車を手放した今、今後も今までと同様もしくはそれ以上利用する予定。JRなどに利用出来るようになるのは賛成。ただポンともらうためややこしい制度は反対。この先各賃金も値上がり予想されなおさら自己負担は増えていく。</p>
厚別区	<p>質問の中に外国は高齢者は子供料金で乗る事が出来るとあったがシンプルで良案だと思った。現行案はIT企業業者だけ良い案で反対。現行制度の上限額を下げるのは（7→5万）はOK。</p>
厚別区	<p>敬老バスをなくされては困る。</p>
厚別区	<p>ポイント制で上限2万円はどうか。地下鉄もバスも210円だけれど、厚別から中央区まで行くと地下鉄だけでも300円以上片道かかる。利用できるのは何回か？また、利用していない人ふぁ半分以上と言うが、施設に入っているなど公共交通機関では移動できない高齢者の方が多いのでは。だからチャージしない。そして年金が低いためにチャージできないお年寄りもいるのではないか。まだまだ敬老バスが使える年齢ではないが、年をとっても希望を持って楽しく過ごせるよう現行の敬老バスの継続を望む。健康敬老バスには反対！</p>
厚別区	<p>時間制限、場所、怒りいっぱい。</p>
厚別区	<p>会場の設定が明らかにおかしい。高齢者が多いことはあきらかに予想できたはず。予算に限りがあることは多少は理解するが、新しいシステムを立ち上げる経費が多額になっては無意味では？公平な制度は不能と思う。特定の活動の押しつけになるのではないか。</p>
厚別区	<p>今の敬老バス制度を続けてほしい。変えるのは反対。</p>
厚別区	<p>50代で制度の対象ではなが母が利用してるので聞きに来た。伝えておきたいことがある。市の職員が謝ることでない。市長とこれを進めたい議員を厚別の説明に来させてほしい。</p>
厚別区	<p>会場設置の配慮していないところに問題がある！！他市との比較は問題外、冬場の北海道の現状をどう考えているのか！利用していない人は56%というが、現実に施設入所、入院など利用したにしても利用できない人がいる。このことを考慮しないで単純にグラフにはできない。福祉と交通は別問題。</p>

会場	ご意見・ご質問の概要（順不同）
厚別区	健康寿命延伸を目指して毎日の生活を送っているが、3回もメスを入れた身体でありながらも介護保険料を払う事で義務を果たしたし、介護を受ける側にはなりたくないと思っていた。敬老パスを利用して厚別区内のスーパー、病気治療のため外出している。まだまだ自分のことは自分で身の回りの事はやっていきたい。スマホも持っていない。経済的に苦しくなる費用は抑えなくてはならないが市の経済が成り立たないのであれば1万のパスで自己負担1万5千円にするなど市民の負担としての案は敬老パスを受給した当初から考えていた。
厚別区	用語にカタカナ用語が多く理解できない。反対。実質利用額が減る路線バス運賃改定しようとしている。交通費大変になる。寿命を伸ばすために病院通いしている。
厚別区	意見交換会などの内容をその都度を広報などで発表してほしい。意見を聞く会である事が確認できた。何も決まっていなかったらあまりこの会は意味がない。
厚別区	北広島や江別に行くとき札幌まではパスが使えるがその次はダメだとjrバスの運転手に言われと途中で降ろされた。1時間に2本しかないのに降ろされて腹立った。これをなんとかしてほしい考えて！
厚別区	ポイント制で上限が決まるということ事が老人には大変だと思う。利用者が増えることは疑問。また、上限2万をもっと上げてほしい。JRなどにつかえるのはとても良いと思う。ポイント取得の人とのふれあいはなんでも良いのか。隣の人とのカフェでのお茶のみはどうか？だれが証明するの？
厚別区	今までの制度で良い。
厚別区	基本的に市案に賛成したい。但し金額減額は段階的にしてほしい。
厚別区	道新の社説の意見は的を得てると思うが、どう考えているのか。唯一、札幌市の施策で良いと思っている制度を継続してほしい。高齢者を怒らせると怖い。とってつけた改訂理由ではなくもっと正面から向き合してほしい。
厚別区	多くの参加者、これだけ、参加者にとっては市が考えている提案はこれから私たちの外出が大きく影響を受ける事を意味してる。私は、四年前よりパスを使うようになり、毎年6~7万円チャージしている。市は限度額を7万円から2万円にし、健康のために歩き、健康につながっている。これからも充実した生活をしていく為にもパスの限度額はこれまで通り希望者に使えるようにお願いしたい。
厚別区	健康寿命延伸は当然だが、それに現行のパスを結びつけるのは無理があり、今の制度は存続すべきであると思う。
厚別区	敬老パスの見直しについて友人、知人と会えばこの話。賛成の声は聞かれない。健康づくりと社会参加のお通しのようなのだが人の体は千差万別運動一つにとってもその人のできる範囲でやっていくべき事。病気を持っている人の運動力もそれぞれ社会参加も一律にはいかない。ポイント制と聞いただけで気持ちが重い。この制度変更にはそれほどの費用と人の負担を要するのか。市の財政を思う時私は3割負担としても良いのでは。もう少し物事簡素に進めてほしい。
厚別区	改正ではない。若い人たちの考えで進めるのは間違っている。高齢者の気持ちは分かっていない。外出サポートの為にカードパスと健康づくりの施策は一緒にできない。すべてに公平…は無理がある。私は9%の人が大いにチャージされ外出するのを応援する。消費などの社会活動をしている人たち。9%は何人か。大変な数。それがもっと増えるように考えるのが政策。今不便なのがJR使えない、チャージが郵便局のみで不便などある。2万円になると我家から交通費がかかるので公平ではない！公平ってなんですか？説明会は真冬ではなく季節で歩きやすい時期にしてほしい。アンケートは5~7月。説明会は真冬…歩くのも大変。
厚別区	免許返納利用者ー経路バス使用者 年齢別のチャージ額にしたら？

会場	ご意見・ご質問の概要（順不同）
厚別区	厚別区の市民交換会に参加した者だが、多くの参加者これだけ参加者にとっては市が考えている提案はこれから私たちの外出が大きく影響を受ける事を意味している。私は、4年前よりパスを使うようになり、毎年6~7万円チャージしてる。市は限度額を7万円から2万円にし健康のために歩いた人にポイントをつけるとの事ですが、そもそもパスを使ってる外出は、公共の乗り物を使い、歩き、健康につながっている。これからも充実した生活をしていく為にも、パスの限度額はこれまで通り希望者に使えるようにしてもらいたい。
厚別区	敬老パスは上限が4万くらいで負担額も多くても利用出来るようにしてほしい。スマホのアプリはほんと使えない。
厚別区	健康推進と敬老パスは別に考えてほしい。→理解できない。
厚別区	「外出を支援し、明るく豊かな老後の生活の充実を図る」移動支援と社会参加という目標が何故「健康寿命延伸対策」に繋がるのか疑問。敬老パスは、通院や買い物と言った移動支援の役割を多く占めており、健康寿命とは区別して対応すべきと思われる。9%の人で予算の半分を使用しており不公平よの事だが、不満の意見や苦情が多いのか？（使用権利があっても必要性を感じてないのであり、不満があると思えない。70歳そこそこでは使わないが、75歳頃から多に使わせてもらおうと思っている人が結構いると思う、私もその一人だ。制度は複雑化せず極力簡単な方が良い。使用者も役所も協力業者も負担にならない方が良いはずである。予算を減らしたいのであれば、最高額を減額する。（5万円）負担額を上げる一律30%の方法もある。免許返納も制度の一つに入れてよいのではと思う。ポイントだけだと免許返納者が減少する可能性が大）提案 健康寿命の延伸対策でポイント制にするなら、70から74歳までとし、交換は例えば市内共通の商品券とか75歳以降の敬老パスに加算でもいいのではないか。敬老パス制度は残し、使用者負担率は一律30%とし最高額は5万円とする。（3千円で1万チャージとなる納付書5枚）簡素化される。さらに、免許返納した場合、証明書の発行を受けるなどにより敬老パスに例えば2万チャージなどすれば良い。健康寿命を伸ばす取組のポイント1喫煙は控える2過度な飲酒は避ける3食事は年齢に応じた量をバランスよく4活発な身体活動を行う5睡眠時間をしっかり確保する6孤独にならず社会関係を保つ7定期的に健康診断を受ける
厚別区	敬老パスは現行のまま残してほしい!!よい制度なので是非是非このままで!!健康パスとは別にしてほしい。改悪で反対!!ポイント制はよくわからない。

会場	ご意見・ご質問の概要（順不同）
厚別区	<p>新たな制度の意見だが、結論から申すと、高齢者人口の増大と49億に達するという財政負担に鑑みて、利用限度額の削減と自己負担額のアップはやむをえないと考える。例えば、利用限度額を半減して35千円とし、自己負担額は2倍の2割とするなら、財政的にも相当の節約となり、社会的な理解も得られる。1983年札幌市の高齢者率が7%に達して高齢社会となった後、わずか40年間で4倍の28%となり、私たち高齢者も現実を直視しなければならない。委託サービスで同様の削減を行ったら、事業者も巻き込んで大変な騒ぎになるが、敬老パスは権利性が弱いので仕方ない。しかし、ポイント取得のハードルをクリアした高齢者にのみ支援するという方式はやめてほしい。第一の理由は、電話の様にスマホを利用する高齢者や、スマホを持たない人にとって大きなテクノストレスを伴う業務的な作業となってしまう、楽しみながら健康を増進するところではない。結果として2万円程度のためにこれに参加することは止めて、参加リスクのある地下鉄やバスは利用せずぎりぎりまでマイカーを運転することになり、健康増進や、CO2の削減、交通事故防止の市の政策にも逆行することになるのではないかと。これが第二の理由である。私は、自分の計画でスポーツを続けており、行政がお膳立てするプログラムに参加する意志や必要性がない。実質的に高齢者への交通支援は廃止になったと受け止めて、自助努力することになる。第三の理由は、個人の生活行動情報がビッグデータとして管理され、市から業務委託を受けるであろうIT事業者が管理することで、漏洩や持ち出しなどで通院情報などのプライバシーが侵害されたり、将来様々な健康ビジネスの資源として使われるのではないかと危惧されること。どうしてこのような「健康寿命延伸」計画案が出てきたのか、「健康寿命延伸検討会」の名簿を拝見したところ、6名の委員のうち、最も必要な高齢者福祉の専門家が入っていない。糖尿や循環器を専門とする2名の医師と家族社会学の先生の他は、土木工学、経済学そしてサイバー塾などを開催する富士通の元教授が入っている。そこで腑に落ちた。既に市民に見抜かれている「おためごかし」の健康寿命延伸のスローガンは降ろして正面から財政負担の問題と訴え、予算を半減して現行制度を維持しては。ほかの多くの政令市ではそのようにして、制度の全廃、縮小をしている。そこでできた予算で、高齢者の健康増進プログラムを別途充実させることが、すっきりと市民の理解を得て海保予防、福祉予算の節約にもつながると考える。札幌市の健康寿命の短さは寒冷や雪に閉じ込められる地域共通。例えば節約された予算で、冬でも寒気を防ぐ設備のされた散歩、ジョギングコースが各区に、相当の規模で設備されたなら、冬場の運動不足解消、疾病予防に大いに役立つと期待できる。質問だが、IT事業者へ委託を主とする、システム化と情報管理の事業予算はどれくらいか。政府のデジタル化政策の声掛け下、行政と特定IT事業者の関係や中敷き下請けなどでの権利が取りざたされているが、この度もそういった国や大企業の動きとの関係があるのか。今回のおためごかしのインセンティブポイント付与は、平等を基本とする福祉政策ではなく、マーケット関係者からの提案の気がする。また、国がマイナンバーカードを押しつけのために言いだし、高齢者が不安に感じていると思われる、健康保健所の電子化とタイアップしてその普及を図ろうとしているのではないかともうかがわれる。また、一斉に全国の政令市において見直しが行われているということは、国の指示が動いているので、何かやらねばならないということなのか。伝え聞いたところでは、札幌市が提案しているようなポイント制を試行してうまく行われなかった自治体があるようだが、実情を知っているか。最後に抜本的な制度の単純化を提案したい。公共交通政策の先進国にあたる、ドイツ、フランス、イギリスなどでの高齢者への交通費支援について有識者に聞いたり、海外旅行をした時に駅員に聞いたりしたが、日本の様に全ての対象者に手紙を出して、やり取りしてパスを作成するなどという事務作業は考えられないし、プライバシー侵害になると驚いていた。高齢者は子供料金で乗車すればよいと簡単な答えだった。それなら一般的なシルバー料金のやり方で、全世代に理解され、真に必要な交通費だけを支援する事になる。なにより敬老パス発行に要している膨大な事務経費や、新制度のシステム構築費、管理費が不要になる。以上</p>